

子育て世代にぴったりの田舎部門日本一※ に選ばれた伊那市の保育園での取組をシリーズで紹介します。

伊那市では、保育園にある「シンボルツリー」の観察や自然体験を通して、子供の気づきを大切にしながら、遊びの中で観察をしたり調べたりして意欲を引き出していく「がるがるっ子」の育成を進めています。

※「田舎暮らしの本」2月号(2015・宝島社)『日本「住みたい田舎」ベストランキング!』による



おもしろがる

知りたがる

不思議がる

がるがるっ子
とは…?

試してみたがる

聞きたがる

など、意欲を持って行動できる子どものことです。



い〜な がるがるっ子

知りたがる
エピソード
西箕輪保育園

「カタツムリとナメクジ」

仲良しの2人が今日も虫探し。お目当ての虫は見つからず、ナメクジを発見。
ナメクジは何を食べるんだ?との会話から園内にある図鑑で「ナメクジ」を探します。
しかしカタツムリは載っているけど、ナメクジは載っていません…



殻を付ければカタツムリになるのになあ。



え!カタツムリってナメクジなの?



うん。だって似てるじゃん。



似てる!そうか!殻を見つければいいんだ!



おう!殻を見つけにいこうぜ!



➔ 結局殻は見つからず、後日ナメクジを逃がした2人でした。

保育士のコメント

興味のあるものに共感し遊びが広がっていく様子と、様々な疑問から発展する心の変化を見る事ができました。
調べてみよう=図鑑という子供達の成長が嬉しかったです。



保護者からのメッセージ

家だと、兄ちゃん達と一緒に塩をかけて「小さくなった!」と伝えに来ていますが、園の友だちの言葉をちゃんと聞いて違う方向へ話しが広がった事に親もびっくり。素敵な友だちに出逢えている事、本で調べるといふ先生方の環境づくりに感謝です。探究心を忘れない子供でいて欲しいです。

少し前までは言葉数が少なかった息子。今回の2人の会話の様子を聞いて正直びっくりしました。かわいい子供らしい発想をして、ちゃんと言葉にして相手に伝えられているなんて!日常生活の中で、息子は私に色々伝えていたかもしれませんが「はいはい」と流してしまっていた事を反省しました。これからは会話や向き合う時間をもっと大切にしたいと思います。